

南アフリカ リンゴとナシが困難なシーズンにいくつかの朗報

FreshPlaza 2023年9月7日

西ケープ州はゆっくりと冬から脱している - 今週はさらに雪が降り、週末は再び雨が降ると予報されている - しかし、果樹園の開花が始まるにつれて、生産者と花粉を運ぶ昆虫は気温の上昇を歓迎するだろう。

コアフルーツ(CoreFruit)社の仁果類(リンゴ、ナシ等)の責任者であるトーマス・ムートン氏は、「春になっても寒い年が数年続いているが、少なくともダムは満水だ」と言う。(以下「」は同氏の発言)

昨年11月には、同社が販売する仁果類のほとんどが栽培されているセレス地域で、リンゴとナシが降雹の被害を受けた。

「リンゴとナシの生産者の大多数は、雹害のために今年是不作であった。降雹の強度と広がりには前例のないものであった。価格は平均で昨年よりも確実に良くなっているが、これは主に3つの理由によるものである: 第1に南アフリカだけでなく南半球全体での供給の不調。第2に、海上貨物運賃が最大の構成要素である一連のコストは、物流コストがピークに達した昨年よりは改善されている。そして第3の理由は為替レートである。」南アフリカの通貨であるランドは大幅に下落し、今日は1米ドル=19.22ランドで取引されている。

台湾市場の喪失は痛い

量は少なくなっているが、同社はまだCA貯蔵したリンゴとナシを梱包しており、それは一年中続く。

「中国向けに出荷シーズンを通してナシを送るのは初めてであった。時には価格の良い時もあったが、新しい市場であり、品種とサイズに関して消費者が求める要件について多くを学んだ。中国市場の追加は我々の業界にとって非常に有益だが、それは特効薬ではない。品質が適切であり、適当な時期に市場に投入されていることを常に確認する必要がある。」

同氏は、インドからの需要は高かったが(輸出できる供給量が少なかったため、常に需要を満たすことができた訳ではない)、植物検疫上の理由で南アフリカ産のリンゴが台湾市場から締め出されたことは、特にふじ品種で大きな損失であったと言う。

リンゴは南アフリカで突出して最も多く消費される果実であり、1人当たりの消費量は4.83kgである。「消費が増えることを願っているが、現実には果実は依然として贅沢品であり、我々の経験では、人々は困難な時期には買い物かごに果実を入れない。」

とはいえ、南アフリカ市場では主に供給が制約された結果として平均価格が高くなったため、悪くはなかったと同氏は付け加える。

「リンゴの価格が高いということは、農場の収益の向上を意味しており、それは良いことである。サプライチェーンのコストは相変わらず非常に高い。今週のディーゼル燃料の価格上昇はその一例であり、特に計画停電中の農作業、梱包、冷蔵のコストに大きな影響を与える。」

執筆者: キャロライズ・ヤンセン